

高久美浜 同窓会報

発行
久美浜高校同窓会
会報編集委員会

TEL 0772(82)0069
FAX 0772(82)0690
URL [http://www.kyoto-be.
ne.jp/kumihama-hs/](http://www.kyoto-be.ne.jp/kumihama-hs/)

健康第一 「ヤンじいを目指して」

会長 岡田 修

(高26回・昭和49年卒)



会員の皆様には、御健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。同窓会に對しまして、温かい御支援・御協力ありがとうございます。

人生は健康が第一です。

“健康は自分が自分に贈る最高の贈り物である”と言われている。私も来年限をを迎え、いよいよシルバー世代の仲間入りです。最近、友達との会話は、血圧やコレステロール、尿酸値が高いとか、薬を飲んでいるとか、健康に関する話題が多くなりました。健康な体を保つためには、減量が必要ですが、京丹後は海の幸・山の幸・お酒など美味しいものがたくさんあるので苦勞します。メタボ予防の一つはスポーツをして体を鍛えることです。そこで私は多くの仲間と楽しくスポーツして心身を鍛えて、美味しい京丹後の幸をつまみで乾杯ができれば最高だと思っています。皆様、スポーツで体を鍛えて、元気なヤンじい(50・60才のヤンちゃんおっさん)を目指して頑張ってくださいませう。

今年度の事業は、11月に久美浜高校体育館で片山美

奈子さんをお迎えしてピラティス講習会を開催しました。ピラティスとは体のバランスを整えて体幹を鍛えるトレーニングで、体重のコントロールや腰痛の改善など効果があるそうです。運動着の講演会は初めての試みでしたが、子供から80才の方まで約60名の参加がありました。私もヤンじいを目指してピラティス教室に参加したいと思っています。また、11月には京阪神久美浜会のゴルフ同好会と本校同窓会との合同親睦ゴルフ大会(17名参加・地元9名)を久美浜C・Cで開催しました。

最後に同窓会報が発行経費の面で危機に直面しています。会報発行には、約108万円必要で、会報賛助金収入(24年度決算)は66万円の状況です。このままでは発行経費に繰り入れられている基本金も1年余りで底をつき、発行できなくなります。そこで今後の方針

を理事会で検討した結果、発行方法を変更していくことになりました。どうか御理解の上、御協力頂きますよう御願います。

はぐく 「輝きを育む」

校長 三好 正志



同窓会の皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動に對し、御理解と御協力をいただき心よりお礼申しあげます。

1学年3クラス、全校生徒数は246名。高等学校としては小規模な学校です。平成10年度から総合学科として歩み出し既に16年となります。本校では、昨年度より「久美高輝プラン」を策定し実施しています。これは、総合学科としての特性や小規模校らしさを駆使し、能力や個性を磨くことで生徒の将来を輝かす取組です。少人数授業で個に応じた指導の充実を図り、選択科目を多くして自分の得意分野をより充実することができるよう考えています。

また、教科指導以外でも例えば、「まるかじり祭り」に参加し地域貢献すること

で自信と誇りを育てようと考えてきました。実行委員の方々は御理解いただき、生徒代表が企画段階から関わることができました。当日は、吹奏楽部や軽音楽部の演奏をはじめ66名の生徒がボランティアスタッフとして参加しました。祭りに来られた方々と出会い、輝く笑顔で活動できたことは、貴重な学びの場であったと感じ

謝しています。

部活動では、カヌー部が国内だけでなく国際大会に出場するほどの活躍をしております。今年の「長崎がんなばら国体」では、カヤックシングル200メートルで優勝、500メートルでも第2位、カナディアンペア500メートルで8位入賞を果たすなど、輝かしい結果を残しました。陸上競技部でも女子砲丸投げで近畿大会に出場、野球部は夏の大会で1回戦を突破(15年ぶり)。このように生徒達の輝く瞬間が次々と生まれています。思えばこうした輝く生徒をしっかりと支える生徒が多くいるのも事実です。地道に努力する姿勢があればこそその輝きです。また、これは本校での教育だけでなく、地域で育てられた結果であると深く感謝しています。どうか今後とも御支援をよろしくお願いいたします。

最後に、来年度、夏には、全国インターハイカヌー競技が久美浜湾で開催されます。大会をとおして大きな喜びを得ることは勿論、生徒ひとりひとりとって実り多い大会にしたいと考えています。どうか同窓会の皆様からも応援をよろしくお願いいたします。

支部だより

同窓生、関東近郊在住者で輪を作ろう!!

東京支部

田中 豪平 (昭和39年卒)

同窓会東京支部は関東近郊に在住している久美浜高校同窓生の集まりであります。私たちは久美浜町出身者で結成しています「東京久美浜会」を拡大、久美浜高校同窓会東京支部と位置付けお互いに協力しながら活動をしています。

今年は台風18号19号が近畿地方を襲来し福知山市内に豪雨をもたらしたりしましたが幸いにも我々の故郷・久美浜町は比較的大きな災害に見舞われなかったことを大変うれしく思っております。

さて、今回は平成25年、26年の主な活動を御報告いたします。平成25年3月、久美中・高龍中の生徒さんが修学旅行で東



京に來られました時、東京都議会議事堂内で役員と交流会を持ちました。5月、三好校長先生、岡田同窓会長、月岡京丹後市久美浜市民局長をお迎えし「東京久美浜会」の総会・懇親会を開きました。(会員27名参加)

来賓の皆さんからは母校の近況について、同窓会として久美浜町の今についてお話を賜りました。10月、ゴルフコンペ(11名参加)と古都・鎌倉を散策し秋を満喫しました。(9名参加)

平成26年は5月、三好校長先生、森垣同窓会副会長、木村京丹後市企画総務部長をお迎えし「東京久美浜会」の総会・懇親会を開催しました。来賓の皆さんから久美高の様子、京丹後市の近況などたくさんのお話を賜り久美浜のエネルギーを頂きました。6月、東京久美浜会の役員3名が新生久美中を訪問し生徒の皆さんと交流会を行いました。10月、ゴルフコンペと(8名参加)、小江戸・川越市を散策する日帰り旅行を開催しました。(12名参加)

郷里・久美浜町は少子高齢化が進んでおりますが、東京支部も若者の無関心化により同窓会への参加人数が減少しております。どうか関東近郊に在住の同窓生のみならず、1年に1回の総会・懇親会に御参加頂き、久美浜弁で語り合いながら楽しいひと時を会員一つになつて過ごそうではありませんか?皆様の

京都支部

久美浜高校同窓会京都支部から

事務局 山口 清史

毎年2月11日に久美浜高校同窓会京都支部総会を開催しており、29回を迎えました。

京都支部の総会は、出席者の固定化と高齢化による出席者の減少が重なって、本年の総会には岡田同窓会長をはじめ来

賓の方々を含め29名の参加となりました。

総会では、三好校長先生から久美高だよりなどにより、「久美浜から日本へ」そして世界へ「漕ぎ出そう!」とカヌー部の活動を基に頑張る高校生の姿

参加をお待ちしております。なお、東京支部は小谷克己支部長から東郷久仁子支部長(旧姓・中村、昭和37年卒)に交替いたしました。

の御報告があり、出席者一同、感動を覚え、みんなで応援したいと感じたところです。

同窓会京都支部としては、同窓会本部の御尽力により名簿が整理されましたので、京阪神在住の若い年代の同窓生にも総会の案内を送付し、多くの参加を呼びかけたところですが、所在不明で返送されたり、返信の連絡が無いなど、参加者の増加に結びつかない結果となっております。

京都支部総会は毎年、京都タワーホテルで建国記念の日に開催しておりますので、同級会などで御活用いただければ幸いです。

京阪神久美浜会

第11回・12回京阪神久美浜会総会・懇親会を開催!

事務局 藤原 俊文

今回は、昨年の第11回と本年の第12回に開催した内容を報告します。

昨年は平成25年11月9日に開催、御来賓は、京都府山下晃正副知事に御出席頂き、平成26年度京都縦貫自動車道の全線貫通により、大きな期待を寄せていること、また丹後にある沢山の知恵・資源・文化を次の世代に繋いでいって欲しい、と熱く語って頂きました。京丹後市久美浜市民局月岡局長は、「京丹後市商工業総合振興条例」の施行や100歳以上の方が占める人口比率で京都市内26市町村中トップクラス、全国平均を大幅に上回っている等々、京丹後市は変わつてき

ているとお聞きしました。久美浜高等学校岡田事務局長は「輝きプラン 個性・能力・未来」を目標に取り組んでいる。部活動の活性化のため、入学者全員入部の方針が、成長し輝かせる要因となつていると話されました。

その後、古代史研究家伴とし子様に「久美浜町の宝と大丹波王国」と題して、御講演をお願いしました。丹後建国1300年の史実を教わり、久美浜に関わる歴史の重みを痛感しました。

本年は、平成26年10月25日に開催、御来賓は京都府山内修二副知事と京丹後市久美浜市民局月岡局長より、舞鶴若狭自動車道と京都縦貫道全線開通によりいよいよ「北近畿新時代」を迎える。京丹後市として市制10周年を機に、ひとつの・ものづくり・交流の先進地「新・丹後王国」の創造を目指す大きな展望を示して頂きました。久美浜高等学校から今回初めて参加の三好校長先生からは、総合学科の特性として、生産科学・福祉・文理特修・教養の4系列があり、その系列毎の活動の様子とクラブ活動でカヌー部や野球部の活躍を報告して頂き、国内・国際的にも頑張っている活躍に会員一同、その様子を頼もしくお聞きしました。岡田同窓会長の御挨拶と乾杯の音頭で懇親会をスタート、シャンソンライブとサックス演奏を聴きながら、郷里久美浜の話題や懐かしい出会いで和やかでゆつくりした時間を過ごせました。今回、当会の新

規会員が8名紹介され、また次年度より3名の新会員が決定している等、今後基盤を拡大し、新役員体制の下、充実した活動にしようという気持ちを新たにしました。最後にサックス演奏で「故郷」を全員で熱唱して閉会となりました。

来年度は、同じ会場で、11月7日(土)に開催予定です。多くの御参加をお願いします。



クラス会報告

昭和20年卒

第四十四回
久美農

松田 せつ子

H25年6月18日

あじさいの咲く時期になり、色々の彩りを見せて、心をなごませてくれます。

今年もこの月に同級会が出来てほんとうに幸せでした。

年と共に募る人が少なくなりますが、出席してくれる人はさすがに元気で毎日を自分の出来る事をして楽しんでおられる様子が話の中で伺えました。又、若



平成25年度

い頃の事を思い出し話の種はつきませんでした。

にぎやかに楽しい時が過ぎてしまい、来年もこの月に逢う事を約束して解散しました。

昭和27年卒

二十七年会
傘寿記念第十一回
同窓懇親会

長砂 幸男

久美浜高校創立百周年、卒業五十周年、古稀の三大節目が重なった平成十四年に第一回懇親会を開催してから十年が経過した今年、四月二十五日に一泊二日の日程で、傘寿記念と銘うち、第十一回同窓懇親会を久美浜温泉湯元館に於いて開催致しました。

今年の四月は、若葉寒の日が続きましたが、当日は皆さんの精進のお陰で穏やかな好天に恵まれ、感謝の一日となりました。

私達の年齢にもなると、家族も含めて健康面での欠席も多い中、皆さんに逢える喜びを楽しみに、体調不良をおして出席した人もあり、お馴染みの十二名で開会しま



した。

最初に、三十数名の物故者に黙祷を捧げた後、校歌斉唱に続き、二十七年会の歌を斉唱して宴会に入り、お互いの体調を案じた歳相応の話で持ち切りになり、はた又TTPの話題が出るなどもり上がり、カラオケで美声を披露したり、毎回実施している福引では、皆さんに幸せが訪れる事を願い、「幸せいこい福ふくろう、不苦勞でくろうしらす。」「福よこいこいやってこい、幸せにこにこ福福ろう。」と刻印された品が全員に当たる様配慮された豪華景品をゲットして喜ぶなど、和やかに懇親を深めました。

予てより、八十歳を一区切りの

目途にと申し合わせていましたが、懇親会で顔合わせする事こそ「今後の人生の励みになる」と意気投合し、米寿を目指して来年も継続する事を約して閉会しました。

二十七年会の歌

長砂幸男 作詞

六甲風の曲

一、希望に燃えて澁刺と

熊野の里に夢かける

青春の意気高らかに

学びて友と二千余日

オーオーオー二十七年会

二、巣立ちて既に半世紀

ひとつの時代築き上げ

今ふり返る夢のあと

齢(よわい)目出度く七十年

オーオーオー二十七年会

フリーフリーフリーフリー

三、祝(しゅく)百年のメモリアル

久しき集い懐かしく

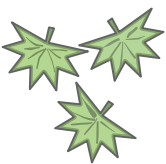
みんなの目指す夢ひとつ

心豊かな人生を

オーオーオー二十七年会

万 万 万歳

(平成十四年四月作)



昭和39年卒

「三八会」

2年振りの開催

幹事 安見 義和

平成17年還暦クラス会から隔年で開催している、昭和39年3月卒業C組のクラス会を、10名の出席を得て去る10月20日、久美浜の「すずらん」にて開催しました。今回は、昨年1月に他界された田家重義君に、哀悼の意を表して黙とうを捧げてから始まりました。(卒業40名、現在物故5名)乾杯の後、自己現況から往時にタイムスリップしての話題に花が咲き、楽しいひとときを過ごしました。しかし、卒業後今日の日を迎えるまでに、それぞれ苦もあり楽もありの人生50年、年輪を感じさせるものがありました。次回健康でと再



会を約束しての散会でした。残念ながら今回お見えになれなかった皆さん、今回は是非ご出席を！

昭和
44年卒

C組同窓会 開催

幹事代表 本井(山下)裕

去る6月22日(土)卒業以来2度目の同級会を久美浜「古谷屋」さんで開きました。初回から2年しか経過していないこともあり、参加者は52名中13名という少ない参加でしたが、当時の思い出、それぞれの現況について大いに語り、飲み、歌い、新たな青春を見いだすことができました。

孫の面倒にいそむ方、年金生



活でのんびり過ごされている方、炭焼に第二の人生を燃やす方、スナック経営等まだまだ現役で仕事に励まれている方々、国を代表する名誉ある賞を授与された方、水彩画で但馬で活躍の方等々、人さまざまですが、同級生の全ての皆さんが今後とも第二の青春を謳歌してほしいものです。

担任の森恭満先生の突然の訃報には皆驚きました。先生には初任校にて初担任としてお世話になりました。特に男子は随分と先生を困らせたこともありました。46年も前の話です。御冥福をお祈りします。

今回は是非京都という要望もあり、京都在住の方々に依頼中です。70歳を迎える前までにはもう一度京都か丹後で「元気で集えること」を期待し、報告とさせて頂きます。

昭和
46年卒

D組同級会

幹事代表 大西 美佐子

D組 担任 藤村信久先生
平成25年4月6日から4月7日迄
1泊2日
ホテル京都エミナースにて

藤村先生は日程が合わず残念にも欠席でしたが、久美浜高校を卒

業し早42年がたち、全員が還暦を迎えた記念の年に十代に返り、旧交をあたため楽しいひとときを過ごす事が出来ました。
Dクラスは2、3年ごとに同窓会を開催しています。



昭和
56年卒

小田先生 退職お祝いの会

高33回 III-D幹事 池田 靖

吉田 康子

入学して卒業までの3年間、担任をして頂きました小田滋夫先生が御退職され、ぜひ皆さんでお祝いしようという事で、去る1月2日浜詰の一望館にて、30年ぶりの

クラス会を開催しました。

卒業して早や32年。急な呼びかけにもかかわらず、39人中19人参加して頂きました。年のたつたのを感じさせるかのように変わって？？つて人もいた気もしますが、皆さんすぐにわかり、又、卒業式以来に出逢った人もあり、とても懐かしく有意義なひとときを過ごしました。

皆さんで乾杯の後には、担任であつた小田先生に一人ずつ点呼して頂き(全員名前も覚えて下さっていました)返事をする一人ずつの高校時代の想い出話をして下さり、本当に感動し、ついこの前のようにでした。



小田先生には、長い間の教職を終えられ、「ぜひ奥さまと旅行へ行つて下さい」と全員からプレゼントをし、喜んで頂きました。

先生は、本当に皆さんの事、よく覚えて下さっていて、32年前なんてウソのようでした。

今回がきっかけで30年前からの連絡先を知らずに過ごしていたのに、案外近くにいる事がわかったり、今回参加できなかった人達もあり、ぜひ次回を」と声があがり、「今度は夏にね」と声をかけあって別れました。

これをきっかけにクラス会が続く事を願っています。

久美浜高校のますますの御発展と御健勝をお祈り致します。



クラス会報告

平成26年度

昭和40年卒

久美浜高校

昭和四〇年三月卒業クラス会

安達 徳一・中島 毅・白岩 美芳

「もう三年経つし、そろそろクラス会やろうか。」
と話しているとき、

「もうそろそろクラス会をやってくれんか。」

という声が期せずして幹事役のところにとどき、一も二もなくクラス会を実施する事になりました。ちょうど前年から三年目となります。

早速、必要な事を幹事役のメンバーで相談し、

日時 平成二六年七月一九日

(土) 二〇日(日)

午後六時開宴

場所 古谷屋

と決まる。同時に、希望者によるゴルフのプレーも実施する等を決めました。

また、われわれが卒業して、約五〇年、半世紀前の高校生活の写真を集め、当日にプレゼンテーションすることも決めました。

後は、参加者をより多く募る

のみです。葉書による参加確認とともに、電話による参加要請も行いました。

当日は、梅雨末期特有のじめじめした天候でしたが、ありがたい事に雨がふる事がなかったのです。予定していた時刻に、まず、恒例の記念写真を撮影し、席につき、亡くなった同級生に黙祷を捧げました。我々の同級生も八人の者たちが亡くなっています。そして、五〇年ぶりの校歌も歌いました。

「歌えるかな」

なんて心配する声もあったのですが、リーダー役がハーモニカの演奏をつけてくれたので、スムーズに歌い出しもでき、うまく歌う事ができました。やはり、高校時代に歌っていたものは忘れる事が無いのですね。

今までも参加してもらっていたのですが、我々の担任であった、茂籠先生、北垣先生に今回



も参加をして頂きました。お元気な姿であったのがなにより嬉しい事でした。先生のコメントも聞いていて楽しくて、元氣いっぱいの様子がよくわかりました。さて、宴会が始まり、酒も回り、舌もなめらかになった頃合いに、一人一人の近況報告をかねたスピーチです。

三年に一回と言わず、二年に一回にしてはどうかという要望もするなど、楽しい時間でした。時期をみて、高校時代の写真を集めたプレゼンテーションです。

「こんな事をやっていたのか。」

「なつかしいなあ。」

「修学旅行は、こんなところにも行っていたのか。」

など、表情は生き生きとしてきましたし、にぎやかに話しながら五〇年前を思い出していました。

次は、二次会です。ウィスパを借り切り、賑やかにカラオケです。さすがに、現代のAKB48が出る事はないのです。昭和の懐メロがほとんどです。「懐かしのハワイ航路」、「いつでも夢を」、「高校三年生」など、当時の流行歌が出てくる事しきりでした。もちろん、自分の持ち歌を熱唱する者もいました。途切れる事なく歌とおしゃべりとお酒の時間を過ごしました。

宿泊者のみの三次会です。先生もこの席に参加をして頂き、また違った話題で座が盛り上がりしました。話が元氣よく続くのです。そうこうしていると、時間も午前へと進んだので、軽く就寝です。

次の日の朝食時に、次回は、

学校行事 (No.1)



まるかじりまつりボランティア



丹後100kmウルトラマラソンボランティア



新入生宿泊研修

二年に一回実施することを了解してもらいました。そして、何が起るかわからない時ではあるけれども、健康に注意して元気にすごし、二年後の再会を誓い、散会となりました。

頑張る久美高生 2014

主なクラブ活動成績

カヌー部

<近畿高等学校総合体育大会>

6月13日(金)～15日(日) 地元・久美浜湾カヌー競技場で開催

近畿各府県を代表する14校175名が熱戦を繰り広げる中、本校は9種目中4種目で優勝、その他にも素晴らしい活躍をしました。

- K-1 優勝 2年 村野 武広 (久美浜中)
- C-1 優勝 3年 服部 友哉 (久美浜中)
- C-2 優勝 3年 武野 勇大 (久美浜中)
- 3年 服部 友哉 (久美浜中)
- C-4 優勝 3年 武野 勇大 (久美浜中)
- 2年 山崎 亮佑 (大宮中)
- 3年 服部 友哉 (久美浜中)
- 1年 鎌田 龍 (久美浜中)

<2014世界カヌースプリントジュニア選手権大会>

7月17日(木)～7月20日(日) ハンガリー共和国(セグド)で開催
2年 村野武広が出場しました。

<全国高等学校総合体育大会(インターハイ)>

8月7日(木)～8月10日(日) 山梨県南都留郡富士河口湖町・精進湖カヌー競技場で開催

- K-1 200m 2位 / 500m 3位
2年 村野 武広
- K-2 200m 8位
2年 村野 武広
浦野 亮太
- C-4 200m 7位 3年 服部 友哉、武野 勇大
2年 山崎 亮佑、1年 鎌田 龍

<国民体育大会(がんばらんば国体)>

10月15日(木)～10月16日(木) 長崎県諫早市で開催

- K-1 200m 優勝 / 500m 2位 2年 村野 武広
- C-2 500m 8位 3年 武野 勇大、服部 友哉



<近畿高等学校カヌー新人選手権大会>

11月7日(金)～9日(日) 滋賀県立琵琶湖漕艇場で開催

- 2年 浦野 亮太 K-1 500m 2位 / 1000m 2位
- 1年 安井光太郎 K-1 500m 6位 / 1000m 3位
- 1年 鎌田 龍 C-1 500m 4位 / 1000m 2位
- 2年 山崎 亮佑 C-1 500m 6位
- 1年 埋金 楓 WK-1 500m 2位 / 1000m 3位
- 新人賞 男子カヤック(K) 安井光太郎
男子カナディアン(C) 鎌田 龍
女子カヤック(WK) 埋金 楓

陸上競技部

<京都府ユース陸上競技対校選手権大会>

8月21日(木)～8月23日(土) 西京極陸上競技場で開催

- 1年 的井絵麗奈 1年女子砲丸投げ 3位

<近畿ユース陸上競技対校選手権大会>

9月19日(金)～20日(土) 大阪ヤンマーフィールド長居陸上競技場で開催

- 1年 的井絵麗奈 出場

<第82回近畿陸上競技選手権大会>

9月5日(金)～6日(土) 紀三井寺陸上競技場(和歌山市)で開催
1年 的井絵麗奈 出場



野球部

<第96回全国高校野球選手権京都大会一回戦 逆転勝利!! 3-2>

7月14日(月)、舞鶴球場で開催

海洋高校と対戦し、8回までは0-2とリードされていたものの、9回表で3得点をあげ、劇的な逆転勝利を飾ることができました。最後まであきらめることなく一球に集中して頑張った結果、本校にとっては15年ぶりの勝利です。

スタンドからは吹奏楽部と多くの保護者やOBの方々の応援があり、勝利の瞬間には歓喜の音が響きました。



ソフトテニス部

<京都府高等学校インドア大会北部ブロック予選会>

11月22日(土) 東舞鶴運動公園テニスコートで開催

- 優勝 2年生 栗山桃子・樋口悠花ペア



学校行事 (No.2)



小型車両系建設機械特別教育



箱石浜再生プロジェクト



校内持久走



体育祭



球技大会



文化祭

平成26年度 同窓会 講習会

ピラティス講習会

11月1日（土）、ピラティス講習会が開催されました。講師は片山美奈子氏（第53回、平成13年3月卒業）にお願いし、参加者約60名（子供たち10名含む）のもと、軽妙なトークで、実技を交えて、楽しく進めていただきました。

ピラティスとはもともと、ヨーゼフ・ピラティスによって20世紀前半に提唱された身体フィットネスメソッドで、アメリカ、ドイツ、イギリスを含めた全世界に広がっています。身体のコンディショニングの効

果があり、体幹だけではなく四肢も含めた、筋力強化・柔軟性向上・筋持久力向上が期待できます。脊柱（背骨）や骨盤のアライメントを整え、呼吸法、強い体幹や身体を中心の意識、調整能力やバランス感覚の向上に指導の重きがおかれています。

今回、参加者の皆さんは、呼吸法や骨盤のニュートラルから始め、5つのエクササイズに取り組み、心地良い汗をかかれていました。



平成26年度 同窓会 理事名簿

会 長		岡田 修
副会長		岡田 高夫
副会長		森垣 敦雄
理 事	一 区	桜井 武（監事）
		中島 毅
理 事	二 区	中嶋 勝治
		増馬 孝之
理 事	川 上	坪谷 栄一
		野村 晃
理 事	海 部	小国幸太郎
		古橋 伸一

理 事	佐 濃 南	奥田 幸男
		深田 功二（会報）
理 事	佐 濃 北	北尻 幸彦
		松本 哲朗（監事）
理 事	田 村	中村 晴司
		長砂 幸男
理 事	神 野	黒田 啓正
理 事	湊	藤野 均
		鈴木 省樹
理 事	旧 中 郡	吉岡 和行
		安見 義和

理 事	旧竹野郡	井谷 實夫
		山口 一彦
		田家 一雄
		小倉美喜雄
理 事	与謝宮津	田崎 晴輝
理 事	但 馬	高田 爽司
		古橋 省三
顧 問	校 長	三好 正志
顧 問	副 校 長	村野 文啓
顧 問	事 務 長	岡田 佳之

校 理 内 事	庶 務	安井 國士
	会 計	鳴海 光則
	会 報	奥田 仙之
		大道 鎌一
		増馬 克巳
		田中 栄介
	ホ ー ム ペ ー ジ	藤澤 満
		小西 鉄也
		森本 和幸
		高尾 幸弘

平成25年度 基本金収支決算書

【収 入】

科 目	予算額	収入額	増 減 (△)	摘 要
繰 越 金	1,074,882	1,074,882	0	
会 費	36,000	35,500	△ 500	卒業生500円×71名
雑 収 入	118	129	11	利息
合 計	1,111,000	1,110,511	△ 489	

【支 出】

科 目	予算額	支出額	増 減 (△)	摘 要
繰 出 金	400,000	0	0	
教育充実支援金	100,000	118,125	18,125	久美高だより (1回)
合 計	500,000	118,125	△ 381,875	

(収入額) 1,110,511 - (支出額) 118,125 = (差引残高) 992,386
992,386 円を次年度へ繰越します。

平成25年度 通常費収支決算書

【収 入】

科 目	予算額	収入額	増 減 (△)	摘 要
繰 越 金	393,395	393,395	0	
繰 入 金	400,000	0	△ 400,000	
会 費	288,000	284,000	△ 4,000	卒業生4,000円×71名
雑 収 入	605	36,064	35,459	預金利息、名簿代金、寄付金
会 報 賛 助 金	600,000	76,320	△ 523,680	
合 計	1,682,000	789,779	△ 892,221	

【支 出】

科 目	予算額	支出額	増 減 (△)	摘 要
会 議 費	10,000	0	△ 10,000	
事 業 費	1,342,000	69,583	△ 1,272,417	
会 報 発 行	1,150,000	0	△ 1,150,000	
卒業生記念品	52,000	50,683	△ 1,317	卒業証書ブック
講 演 会	120,000	0	△ 120,000	
支部活性化対策	20,000	18,900	△ 1,100	京都支部総会
支 部 助 成 費	80,000	70,000	△ 10,000	各支部総会
旅 費	100,000	81,680	△ 18,320	各支部総会(会長・校長)
通 信 運 搬 費	20,000	8,110	△ 11,890	理事会・支部等資料送料
事 務 費	10,000	2,498	△ 7,502	コピー用紙・封筒等
報 償 費	90,000	90,000	0	支部総会祝金、学年同窓会奨励金
雑 費	20,000	15,000	△ 5,000	副会長香資花輪
予 備 費	10,000	0	△ 10,000	
合 計	1,682,000	336,871	△ 1,345,129	

(収入額) 789,779 - (支出額) 336,871 = (差引残高) 452,908
452,908 円を次年度に繰越します。

平成26年度 基本金予算書

【収 入】

科 目	前年度決算額	本年度予算額	増 減	摘 要
繰 越 金	1,074,882	992,386	△ 82,496	
会 費	35,500	42,000	6,500	卒業生500円×84名
雑 収 入	129	614	485	利息
合 計	1,110,511	1,035,000	△ 75,511	

【支 出】

科 目	前年度決算額	本年度予算額	増 減	摘 要
繰 出 金	0	500,000	500,000	通常費に繰り出し
教育充実支援金	118,125	150,000	31,875	久美高だより1回分
合 計	118,125	650,000	531,875	

平成26年度 通常費予算書(案)

【収 入】

科 目	前年度決算額	本年度予算額	増 減	摘 要
繰 越 金	393,395	452,908	59,513	
繰 入 金	0	500,000	500,000	基本金より繰り入れ
会 費	284,000	336,000	52,000	卒業生4,000円×84名
雑 収 入	36,064	412	△ 35,652	預金利息
会 報 賛 助 金	76,320	500,000	423,680	
合 計	789,779	1,789,320	999,541	

【支 出】

科 目	前年度決算額	本年度予算額	増 減	摘 要
会 議 費	0	10,000	10,000	理事会・事務局会議
事 業 費	69,583	1,379,000	1,309,417	
会 報 発 行	0	1,180,000	1,180,000	会報発行に係わる全経費
卒業生記念品	50,683	59,000	8,317	卒業証書ブック
講 演 会	0	120,000	120,000	講演会
支部活性化対策	18,900	20,000	1,100	各支部総会
支 部 等 助 成 費	70,000	80,000	10,000	各支部総会
旅 費	81,680	100,000	18,320	各支部総会・他
通 信 運 搬 費	8,110	10,000	1,890	理事会案内・他
事 務 費	2,498	10,000	7,502	用紙・他
報 償 費	90,000	100,000	10,000	支部総会祝金、学年同窓会奨励金
雑 費	15,000	20,000	5,000	
予 備 費	0	80,320	80,320	
合 計	336,871	1,789,320	1,452,449	

全戸配布は今年で終了します

同窓会事務局では、会員相互の親睦を図るため、毎年同窓会報を発行していましたが、資金不足のために、**来年度からは賛助金を納入していただいた方にだけ、会報をお送りいたします。**多くの方々に会報を御愛読いただけるよう努力してまいりますので、賛助金への御理解・御協力をよろしくお願い申し上げます。

編集後記

諸般の事情により、2年ぶりに同窓会報を発行することになりました。同窓会報発行に関しましてたくさんの方に御協力・御支援いただきありがとうございます。特に例年多額の会報賛助金を皆様からいただいております。厚くお礼申し上げます。

しかしながら厳しい予算状況であり、来年度からは賛助金をいただいた方のみへの発行となりますので、よろしくをお願いします。

さて、クラス会・同級会の報告につきましては年々増えてきておりますが、まだまだ各地で行われていることと思います。規模に関係なく御報告いただき、会員相互の交流の場となるような会報としていただければ幸いです。

今後とも良い会報づくりに努めて行きたいと考えておりますので、よろしくお願いします。